

ソフトバンクグループの「AI特許爆撃」：3波にわたる大量出願の実態と戦略

3つの巨大な出願の波とタイムライン

第1波・第2波：2025年公開件数で国内1位へ

公開件数10,400件

2023年9月と2024年夏の機中出願により、2025年の出願公開件数は断トツの10,400件を記載。

第3波：2025年12月の異常な急増

全国月間出願数
前年比2.7倍 (約8.2万件)

全国の月間出願数が前年比2.7倍 (約8.2万件) に達し、その多くがSBGによるものと推測。

2027年：さらなる大量公開の予測

出願から18ヶ月のラグを経て、2025年末の巨大な出願数が2027年中頃に一挙公開される長連し。

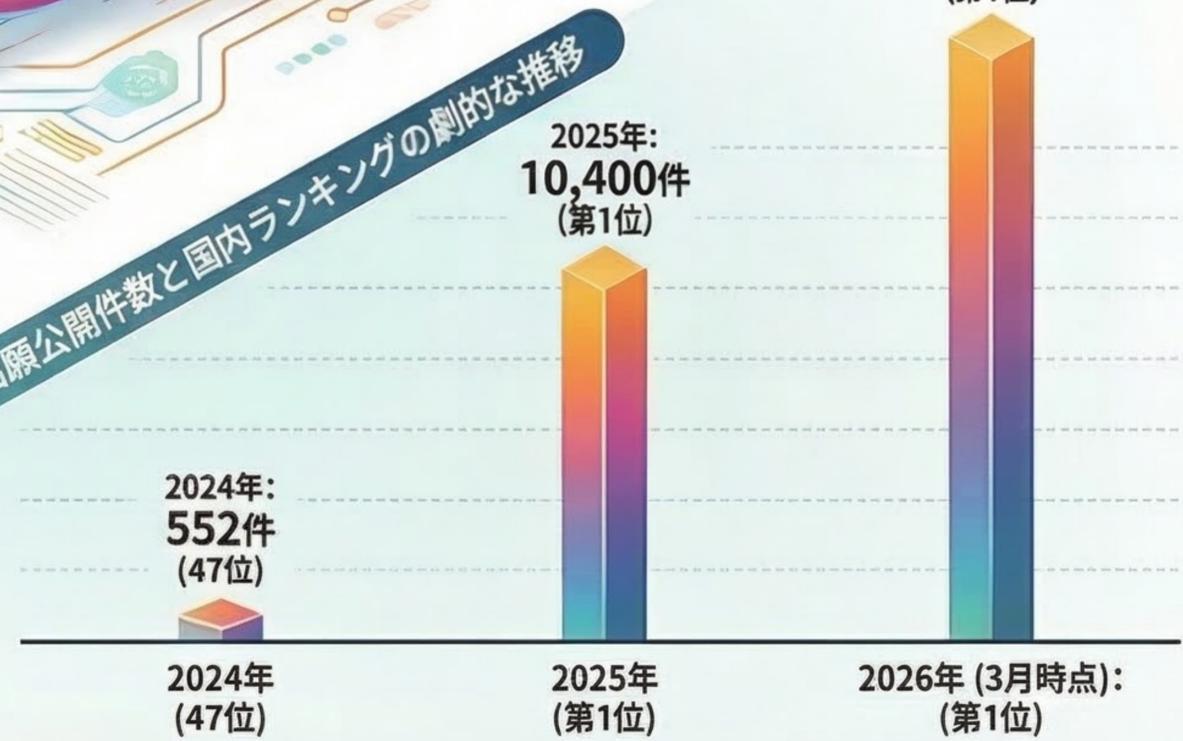


2027年中頃

2026年(3月時点):
11,964件
(第1位)

SBGの出願公開件数と国内ランキングの劇的な推移

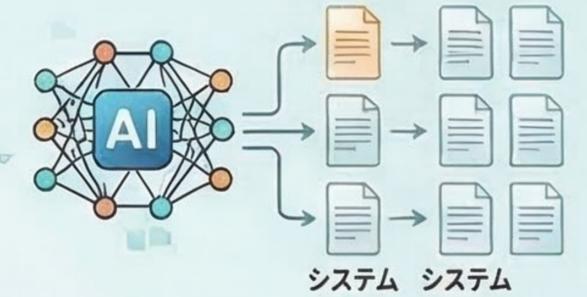
2023年9月～
2024年夏



「知財の要塞」戦略の特徴と現状

生成AIによる「絨毯爆撃」出願

タイトルが「システム」等と括めて額豪で、AIによる明滅書の価値領域とコスト圧縮を示唆。



登録率は現在0.5%未満

大量出願の大平は導査中であり、現解点での特許取得件数は極めて限定的。



広範な技術領域の確保

サービス策向けAI(G06Q)を集約に、医療、ロボティクス、自動運転など多域にわたる。

